

主要施策	町民と共につくる親しみやすいまちを支える交流活動
施策の柱	1 官民協働の推進
施策の分類	住民との協働

■ 現状と課題

○地域活動の拡大へ

近年、少子高齢化が急速に進んでおり、人口の減少や核家族化、さらにはライフスタイルの多様化により、地域住民のつながりが低下しています。安心して暮らせる環境は、家族や近隣の人達との日常的なつながりが重要となり、地域の組織的な活動を進めていく必要があります。そのためには、家庭内からライフスタイルの確認と見直しを行い、地域文化を継承できる環境の整備を行うとともに、安全安心な地域社会の確立を目指すことが必要です。

○行政主導から町民主導へ

まちづくりのあり方として、町民と行政が一緒になって問題解決していかなければいけません。

町民が地域の実情を町政に反映させるためには、現在の行政主導から町民主導によるまちづくりが定着しなければなりません。地域の問題を町政に反映させながら、町民自らが地域の将来像を描き、その実現に向けて行動していくことが重要です。

■ 目指す姿（基本方針）

- 地縁などによる地域コミュニティが活性化し、日常的にふれあえるまちを目指します。
- 町民自らがまちづくりに参画する意思を持ち、町民と行政との協働によるまちを目指します。

■ 施策の内容

- 町民のまちづくりへの参画を促進するため、各種の計画策定段階からの町民の参加を推進します。
- 町民参加により策定した各種計画に基づき、地域でできること、行政でなければできないことを明確化し、役割分担しながら協働によるまちづくりを推進します。
- 「朝ごはん運動」を中心に地域コミュニティに活力ある支援を進めます。
- 地域住民による自主的な活動やNPO活動への支援をします。
- 活動拠点となる施設（ふれあいセンターなど）の整備を進めます。
- 開かれた行政を目指し、住民との信頼関係を築きます。

担当：町民生活課・教育委員会・総務課